

週日の説教

金トマス・アキナス 神父 2010年1月27日(水)

(金 大烈・ザベリオ神父様の同時通訳にて)

《神様の音を聞くために》

賛美イエス様！

ご存知の方も結構いらっしゃると思いますが、私は黙想指導の専門司祭です。休みなしに毎日説教をしなければなりません。ですから、時には話をするのが嫌になることがあります。20年くらい、ほとんど毎日黙想指導のために話していたので、アゴの骨がはずれてしまいました。今でも時々、苦痛を感じることがあります。日本に来る時は、話をしたくなくて、説教から逃げるような気持ちで来ます。ただ側にいて、ミサに与りたい気持ちです。ところが、着いた途端に弟から「今日から説教をお願いします。」と言われてしまいます。本当に悪い弟です。(大笑い) 説教をしたくない気持ちでここまで逃げてきたのに、また説教をさせられます。私は本当に気の毒な存在です。(大笑い)

音にはいろいろな種類がありますが、大きく分けると3つの種類の音があります。

一つは、『自然の音』です。たとえば風の音、水の流れる音、落ち葉の散る音、その他にもたくさん『自然の音』がありますね。それらの『自然の音』は、いつも私たちに平安な心を与えてくれます。

二つめは、『人工的な音』です。たとえば車の音とか、携帯電話のベルの音です。このような『人工的な音』は、人を疲れさせます。

では、皆様に質問をします。おならの音はどちらに属するのでしょうか。(笑い)『自然の音』になるのでしょうか、それとも『人工的な音』になるのでしょうか。『自然な音』だと思いますか。では、おならの音を聞いて平安を感じられるのでしょうか。もちろん、ご自分のおならの音はあまり気にしないと思うのですが、他人のおならの音は絶対平安な気持ちにはさせてくれませんか。ですから、おならの音は『人工的な音』に属します。

思い出話を申し上げます。90歳くらいのおじいさんの神父様がいました。引退はしたのですが、小教区のあちこちでミサを授けていました。年をとるとおならが自然に出てしまいます。ミサの中でご聖体を上げる時と杯を上げる時に、おならがよく出てしまいます。おならにも二種類があります。(笑い)音がするおならと、音のしないおならです。音がするおならは臭くないですね。音のしないおならが怖いです。(大笑い) 本当に臭いですよね。その引退された司祭のおならは、二番目の種類のおならでした。杯を上げる時に、自分でも気づかないうちにおならが出てしまいました。司祭が杯を上げる時には、侍者達がひざまずいていますね。侍者の子どもたちが、みんな倒れてしまいました。なぜ倒れたのでしょうか。あまりにも臭くて我慢できなかったのです。そして祭壇の前を見ると、大きな釘が落ちて転がっていました。天井の釘が落ちたのかと思いました。しかしよく見ると、十字架につけられたイエス様が、あまりにも臭くて自分の鼻を手で覆い、手にあった釘が出てしまったのだそうです。(大笑い) 作り話ですが、面白く聞いた話です。

人間の体から出る臭においは、時間が経てばなくなります。おならの臭がいくらすごくても、その臭が一週間も残る人はいないと思います。しかし、霊魂から出る臭は死ぬ時にも持って行きます。一番気の

毒なのは、自分の体から出ているその臭みが、自分では感じられないことです。周りの人々はその臭みが分かって、避けようとします。しかし本人だけが自分の臭を感じられないのです。そして、「私がこの共同体で一番熱心で、賢い」と思ってしまうのです。「自分が一番偉い」と考えてしまうのです。体から出る臭は、洗えばなくなります。時間が経てばなくなります。しかし、霊魂から出る悪い臭は、絶対なくなりません。

三つめの音の話をしてします。それは『神様(から)の音』です。皆様は、この『神様(から)の音』を聞かなければなりません。家にラジオがありますね。ラジオを聞こうとすると、チャンネル(周波数)をきちんと合わせなければなりませんね。いくら高級で素晴らしい性能を持っているラジオでも、チャンネルを合わせなければ何も聞こえません。同じように、『神様の音』を聞こうとする時にも、霊魂のチャンネルを合わせなければなりません。神様はチャンネルを通して、私たちがみ言葉を聞くことを許して下さいます。いくつかのチャンネルがあります。

一番目のチャンネルは、『良心』というチャンネルです。神様は、いつも『良心』を通して私たちにおっしゃっています。

二番目のチャンネルは、『み言葉』です。

三番目のチャンネルは、『七つの秘跡』です。

四番目のチャンネルは、誰でも嫌うチャンネルなのですが、一番よく聞こえるチャンネルです。そのチャンネルが何であるかご存知でしょうか。そのチャンネルは『苦痛、十字架』です。神様は苦痛を通して、一番正確に私たちにおしやっています。苦痛という十字架によって、神様のみ言葉が、神様の音が、一番よく、きれいに聞こえます。しかし、誰も聞きたくはありません。

このような四つのチャンネルを通して耳を傾ければ、私たちの内には変化が生じます。私たちが、一生懸命に、忠実に生きている時に神様のみ言葉を聞ければ、勇気と分別をいただきます。しかし、よくない生き方をしている時に神様のみ言葉を聞けば、まず恐れのお気持ちが生じます。次に、悔い改めようとする心が許されます。そして、これから先の人生をどのように生きればよいか、悩み始めます。

私たちには毎日何回も、いろいろなチャンネルをとおして神様のみ言葉を聞く機会が与えられています。

『神様の音』の中でも、特別なものがあります。それは、司祭を初めて呼びかける時の音です。司祭が神学校に入るのには、それぞれの動機があります。同じ動機で神学校に入る人は、一人もいないと思います。ですから、先ほどの特別な神様からの音、み言葉は、その司祭の共同体にいる司祭を通して知らされるのです。

私たちは、自然の中で、特に山などに登って、『神様の音』を聞こうとします。もちろん、山のとっぺんに登って神様のみ言葉、音を聞くことはできます。しかし、自然の音は、すぐには神様のみ言葉になれません。そのような考え方は、ニューエイジ(NEW AGE; 一種の新興宗教)の考え方です。この世の中にある全てのものは神様の被造物ですが、それは被造物でしかありません。「落ち葉や木、いろいろな生きものが、神様である」という考え方は絶対に正しくありません。神様のみ言葉を聞こうとするのなら、何よりも自分の中を空にしなければなりません。ある人は1日中、一言も話さない性格です。しかし、話さないことが沈黙なのではありません。一言も話さなくても、心の中はすぐうる

さい人がいます。自分の中がうるさくなってしまうたら、絶対に神様の声は聞こえません。

私のいる聖母聖地には、たくさんの巡礼客が来ます。皆様の中にも来られた方がいらっしゃるでしょう。ある信者は、静かに来て、何も話さないで、自分の中にある物を全部なくして、聖母マリア様の薫を感じようとしながら帰ります。しかし、来たときから帰るときまで、いろいろな人々とおしゃべりをしたり、あちこち行ったりして、聖母マリア様に出会えないまま、一日を無駄にして帰ってしまう人も結構います。皆様が聖堂の中に一日中座っていても、神様の言葉が聞こえるわけではありません。心の中を空にしなければ聞こえません。心の中を全部空にすることができれば、その時こそ、神様のみ言葉とマリア様の愛を感じられます。神様のみ言葉は、聖櫃の前だけで聞こえるものではありません。皆様がとどまっている全ての場所で、神様のみ言葉を聞くことができます。職場でも聞けます。問題は、“自分の中に満たされているものを出さなければ聞こえない”，ということです。覚えておいていただきたいです。神様のみ言葉は、奉獻の生き方をする時に聞こえるのです。

昨日から、この私という司祭を通して、み言葉が皆様に伝えられていると私は信じています。説教をしたくなくてここまで逃げてきたのに、神様はさせるのです。み言葉を伝える者達は、逃げ場のない存在です。弟が私に何かをさせたいときには、「これは神様のみ旨だからしてほしい」と言うのではないかと心配しています。

皆様との約束で守れなかったことが一つあります。初めて皆様にお目にかかった時に、「一生懸命に日本語を勉強して、日本語で説教をする日が来るようにします。」と言いましたが、まだ「ありがとうございました。」しか分からない状態です。本当に申し訳ありません。本当に不便ですよ。通訳がいなければなりません。来年は必ず勉強してきます。今は、本当に通訳されているのかどうか、全然分からないですからね。(大笑い)

さあ、イエス様のみ言葉を聞こうという気持ちで、司祭の口を通して話された言葉が自分のものになるように、この聖餐を通して私たちの心にいらっしゃるイエス様を迎えましょう。

昨日の話をもう一回繰り返しますが、ご聖体をいただくときには何よりも「イエス様、神様、感謝いたします。」という心を先に口にしながらいただいでください。人工の音も、自然の音も越えている神様の音、み言葉を聞こうとする生き方を作りましょう。

ありがとうございました。